シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	保健Ⅱ		
必修選択	必修	（学則表記）	保健Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科／ヘアメイク科	2	60
使用教材	保健Ⅱ		出版社	社）日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	適切な美容を行うために人体の保健と皮膚科学を解剖学的ならびに生理学的に理解し、「美容実習」および 「美容の物理化学」と関連させながら知識の習得する。		
到達目標	人体の基礎知識の習得を図ることによって安全で衛生的な美容の施術を実践できる能力を育て、 施術依頼者からの質問にも十分に説明できる。		
評価基準	テスト：５0%　小テスト：３０％　　授業態度：20%		
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者		
関連資格	美容師国家資格		
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	国森美香　他2名	実務経験	○
実務内容	総合病院・クリニック（美容皮膚科含む）で勤務をし、師長・人材育成にも従事 美容と健康のサロンを運営		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	人体の構造および機能の復習 （第1章～2章）	美容師免許を取得する必要性 頭部・顔部・頭部の体表解剖学、骨格器系の演習（国家試験過去問題）と解説
2	人体の構造および機能の復習 （第3章～５章）	筋系、神経系、感覚器系の演習（国家試験過去問題）と解説
3	人体の構造および機能の復習 （第6章～8章）	血液・循環器系、呼吸器系・消化器系の演習（国家試験過去問題）と解説
4	皮膚科学（第１章）	皮膚の構造
5	皮膚科学（第２章）	皮膚付属機関の構造（毛）
6	皮膚科学（第２章～３章）	皮膚附属器官の構造（脂腺、汗腺、爪） および皮膚の循環器系と神経系
7	皮膚科学（第４章）	皮膚と付属器官の生理機能
8	総まとめ	テストを実施する
9	皮膚科学（第５章）	皮膚と皮膚付属器官の保健
10	皮膚科学（第６章）	皮膚と皮膚付属器官の疾患 （皮膚の異常とその種類～皮膚炎と湿疹・蕁麻疹・薬疹）
11	皮膚科学（第６章）	皮膚と皮膚付属器官の疾患（日光皮膚炎～分泌異常による疾患）
12	皮膚科学（第６章）	皮膚と皮膚付属器官の疾患（化膿菌・ウイルス・真菌による皮膚疾患）
13	まとめ	まとめを実施する
14	解説 皮膚科学（第６章）	振り返り・解説 衛生害虫による皮膚疾患～皮膚の腫瘍
15	総まとめ	総まとめを行う

16	皮膚科学の復習（第１章～２章）	皮膚の構造と皮膚付属器官の構造の演習と解説
17	皮膚科学の復習（題３章～４章）	皮膚の循環器系と神経系および皮膚と付属器官の生理機能の演習と解説
18	皮膚科学の復習（第５章）	皮膚と付属器官の保健の演習と解説
19	皮膚科学の復習（第６章）	皮膚と付属器官の疾患の演習と解説
20	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
21	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
22	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
23	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
24	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
25	まとめ	まとめを実施する
26	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
27	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
28	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
29	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	美容技術理論Ⅱ		
必修選択	必修	（学則表記）	美容技術理論Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科／ヘアメイク科	3	90
使用教材	美容技術理論Ⅱ		出版社	社）日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	美容業界で活躍していくために、美容全般の技術と理論について習得する。		
到達目標	美容師国家試験（筆記）に向けて適切な記述ができる。		
評価基準	テスト：５０％　小テスト：３０％　　授業態度：20％		
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者		
関連資格	美容師国家資格		
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	竹中勇樹　他4名	実務経験	○
実務内容	美容室にて美容師として勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	1. エステティック概論2. 皮膚の生理と構造 3. カウンセリング 4. 美容におけるマツサージ理論	・エステティックの歴史、範囲、心得、注意点・皮膚の構造・カウンセリングの目的・実際、エステティックにおけるカウンセリング ・基本手技
2	5. フェイシャルケア技術 6. フェイシャル及びデコルテマツサージ	・フェイシャルの効果、方法・デコルテ、フェイシャルの手順 マッサージにおける手の動かし方と操作ポイント
3	1.ネイル技術概論　2. ネイル技術の種類 3. 爪の構造と機能　4. 爪のカツト形状	・ネイルケア、アーティフィシャルネイル、ネイルアート・爪の構造と機能・爪のカット形状・消毒方法の種類、器具の消毒手順、 テーブルセッティングの一例・カウンセリング
4	7. ネイルケア8. アーティフィシャルネイル 9. 手と足のマツサージ	・ネイルケアの道具、マニキュア・ペディキュア技術の手順・アーティフィシャルネイル技術の道具、プレパレーションの手順、ナチュラルネイル オーバーレイ技術の種類、ジェル技術の手順、シルクラップ技術の手順・グルー＆フィラー技術の手順、アーティフィシャルネイルの追加とオフ・ハ ンドマッサージのポイント・手順、フットマッサージのポイント・手順
5	1. メイクアップ概論2. .顔の形態学的な観察 3. メイクアップと色彩4. 皮膚の生理と構造 5. メイクアップの道具　6. スキンケア 7. ベースメイクアップ	・メイクアップ概論（サロンワーク・スタジオワーク）・顔のプロポーション、顔の骨格と筋肉、顔の立体研究、 メイクアップによる立体感、顔の凹凸に基づいたブロッキング 角度配色・皮膚の生理と構造・メイクアップの道具　・クレンジング、トーニング、プロテクティング ファンデーションの目的・選び方、塗り方と順序の一例、多色塗り、ハイライト、ローライト
6	8. アイメイクアップ　9. アイブロウメイクアツプ 10. リツプメイクアップ　11. ブラツシュオンメイク 12. まつ毛エクステンション	アイライン、アイシャドー、カラーアイシャドー、パウダーアイシャドー、アイラッシュカール、マスカラ つけまつ毛のテクニック・眉の整え方、ドローイング、シェーディング ・リップの丸みのある描き方、鋭角的な描き方、、ブラッシュオンメイクアップ ・まつ毛エクステンションにおける衛生及び保健、道具の一例・カウンセリング、注意事項、施術の一例
7	総まとめ	テストを実施する　8章～10章の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題
8	1. 日本髪の由来2. 日本髪の各部の名称 3. 日本髪の種類と特徴4. 日本髪と調和	・日本髪の由来・日本髪の各部の名称・日本髪の種類と特徴・日本髪と調和
9	5. 日本髪の装飾品6. 日本髪の結髪道具 7. 日本髪の結髪技術8. 日本髪の手入れ9. かつら	・日本髪の装飾品・日本髪の結髪道具・日本髪の結髪技術 ・日本髪の手入れ・かつら（かぶせ方、飾り方、付け方、簪の位置、外し方、持ち方、しまい方、手入れ）
10	1. 着付けの目的2. 礼装3. 着物と季節 4. 着物のいろいろ5. 帯6. 小物 7. 着物各部の名称8. 着物のたたみ方	・着付けの目的・女子礼装、男子礼装、礼装生地、準礼装、心得・着物と季節 　着物のいろいろ・帯・小物の種類・着物の各部の名称・着物のたたみ方
11	9. 着付けの一般的要領10. 留袖着付け技術 11. 振袖着付け技術12. 帯締め、帯揚げの結び方 13. 男子礼装羽織、袴着付け技術	・体型補正、長襦袢の着付け・着物の着付け、帯結び・帯締めの結び方の一例、 帯揚げの結び方の一例、男子礼装羽織、袴着付け技術
12	14. 羽織のひもの結び方15. 女子袴着付け技術 16. 婚礼着付けの際の注意事項17. 和装花嫁 18. 洋装花嫁(ウエディングドレスの知識)	・羽織のひもの結び方・女子袴着付け技術・美容師自身の身だしなみ、不測の事態に備える、 緊張をほぐすための細かい配慮、花嫁の動作に注意する、機敏な動作・和装花嫁・洋装花嫁
13	まとめ	まとめを実施する　11章～12章の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題
14	解説	テストの振り返り・解説
15	美容技術理論Ⅱ 総まとめ	美容技術理論Ⅱ　総まとめを行う

16	美容技術理論Ⅰ 序章・1章	美容技術理論を学ぶにあたって・美容道具　重点項目振り返り
17	美容技術理論Ⅰ 2章・3章	シャンプーイング・ヘアデザイン　重点項目振り返り
18	美容技術理論Ⅰ 4章・5章	ヘアカッティング・パーマネントウエーピング　重点項目振り返り
19	美容技術理論Ⅰ 6章・7章	ヘアセッティング・ヘアカラーリング　重点項目振り返り
20	美容技術理論Ⅰ 総まとめ	美容技術理論Ⅰ　総まとめを行う
21	対策	美容技術理論Ⅰ・Ⅱ 重点項目復習
22	まとめ	まとめを実施する　美容技術理論Ⅰ・Ⅱ の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題
23	対策	美容師国家試験過去問の演習と解説
24	対策	美容師国家試験過去問の演習と解説
25	対策	美容師国家試験過去問の演習と解説
26	まとめ	美容技術理論Ⅰ・Ⅱ 重点項目復習
27	対策	美容師国家試験過去問の演習と解説
28	対策	美容師国家試験過去問の演習と解説
29	対策	美容師国家試験過去問の演習と解説
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	関係法規・制度		
必修選択	必修	（学則表記）	関係法規・制度		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科／ヘアメイク科	1	30
使用教材	関係法規・制度		出版社	社）日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容の業に対する美容師法による規制と、行政による指導監督制度、およびその他の美容の業の関連法規に関する知識の習得を図る。
到達目標	美容の業に関する関係法規・諸制度のみならず、その前提となる法制度や衛生行政の知識を獲得し、 国家試験に対応できる学力の習得を目的とする。
評価基準	テストおよび小テスト：８０パーセント　授業態度：２０％
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	美容師国家資格
関連科目	
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	佐伯倫生　他1名 / 実務経験：○
実務内容	大手通信会社にて勤務後、インドネシアにて観光会社を設立 帰国後、各学校で講師を行いながら投資事業を行う

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	イントロダクション 第1章　法制度の概要　　第1節　第2節	美容師免許取得までの流れ、国家試験における関係法規の出題数や傾向の説明 社会における法の役割　　日本の法令体系
2	第1章　法制度の概要 第3節　第4節	衛生法規の仕組み 美容師法と附属法令
3	第2章　衛生行政の概要 第1節　～　第3節	衛生行政を担う行政機関・保健所の役割
4	第3章　理容師法・美容師法　第1節	「美容師法」の目的
5	第3章　理容師法・美容師法　第2節	「美容師法」で用いられる用語の定義
6	第3章　理容師法・美容師法　第3節	美容師免許取得までの過程
7	まとめ	まとめを実施する。
8	解説	振り返り・解説
9	第3章　理容師法・美容師法　第3節	美容師に求められる義務
10	第3章　理容師法・美容師法　第3節	免許の変更等があったときの手続き
11	第3章　理容師法・美容師法　第3節	管理美容師
12	第3章　理容師法・美容師法　第4節	美容所の開設に必要な届出・検査
13	第3章　理容師法・美容師法　第4節	開設者が求められる義務および美容所以外での業務
14	まとめ	まとめを実施する。
15	解説・総まとめ	振り返り・解説

16	第3章　理容師法・美容師法　第5節	立入検査と環境衛生監視員
17	第3章　理容師法・美容師法　第6節	違反者に対する行政処分
18	第3章　理容師法・美容師法　第7節	違反者に対する罰則
19	第4章　関連法規	美容業の運営に関する関連法規
20	第4章　関連法規	美容業の衛生・顧客に関する関連法規
21	まとめ	まとめを実施する。
22	解説	振り返り・解説
23	第1章　第2章の復習	ワークブック等を用いて問題演習
24	第3章の復習	ワークブック等を用いて問題演習
25	第4章の復習	ワークブック等を用いて問題演習
26	まとめ	まとめを実施する。
27	解説	振り返り・解説
28	総復習（1）	国家試験過去問演習等
29	総復習（2）	国家試験過去問演習等
30	総まとめ	総まとめを実施する。

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	衛生管理		
必修選択	必修	（学則表記）	衛生管理		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科／ヘアメイク科	3	90
使用教材	衛生管理		出版社	社）日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	公衆衛生について学び、感染症と環境衛生、 消毒の義務や目的など、サロンにおける衛生管理を学ぶ中で、衛生面についての理解する。
到達目標	不特定多数の人の皮膚や毛髪に直接触れ、刃物や薬剤などを用いて業務をするため、個人としてだけではなく、 業を通して公衆衛生・環境衛生を業務に関連付けて説明することができる。
評価基準	テスト：５0%　小テスト：３０％　　授業態度：20%
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	美容師国家資格
関連科目	
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	安井千春　他3名　　実務経験　○
実務内容	病院、調剤薬局にて薬剤師として勤務後、2002年から「衛生管理」「美容保健」を担当

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	第1編　公衆衛生 1章公衆衛生の概要	先輩や講師自身の話をする美容師免許を所得する上での必要性取得までの流れを説明 この教科で一番興味を持ちそうな話をする（身近な病気や生活習慣病など普段の生活に　近い話）
2	第1編　公衆衛生 2章保健	「母子保健」・「成人・高齢者保健」・「精神保健」
3	第2編　環境衛生 1章環境衛生の概要・空気環境	環境衛生の内容・目的・意義・活動 空気の成分と有毒ガス　温度・湿度・風と健康
4	第2編　環境衛生 1章衣服住居の衛生・上下水道と廃棄物	衣服住居の衛生・上下水道と廃棄物
5	第2編　環境衛生 1章衛生害虫とネズミ・環境保全	衛生害虫とネズミ・環境保全
6	まとめ	まとめを実施する。振り返り・解説
7	第3編　感染症 1章感染症の総論①	人と感染症・感染症の歴史、法律・感染症の分類
8	第3編　感染症 1章感染症の総論②	病原微生物の種類と構造・環境の影響
9	第3編　感染症 1章感染症の総論③	感染症の予防免疫と予防接種・予防のための3原則
10	第3編感染症 2章感染症の各論①	空気・飛沫、飲食物を介して感染する 感染症の症状、感染経路、予防対策
11	第3編感染症 2章感染症の各論②	血液等、動物・節足動物を介して感染する 感染症の症状、感染経路、予防対策
12	第3編感染症 2章感染症の各論③	具体的な対策の例
13	まとめ	まとめを実施する。
14	解説	振り返り・解説
15	総まとめ	総まとめを行う

16	第4編　衛生管理技術 1章消毒法総論	消毒法とは・消毒の意義 理美容の業務と消毒との関係・消毒法と適用上の注意
17	第4編　衛生管理技術 2章消毒法各論	理学的消毒法・化学的消毒法の消毒方法 消毒条件・特徴、すぐれた消毒法と実施上の注意
18	第4編　衛生管理技術 3章消毒法実習(1)	消毒液の濃度、希釈の方法、器具の使い方 各種消毒液の調整法と計算の仕方
19	第4編　衛生管理技術 3章消毒法実習(2)	消毒の原則、器具や布片の消毒と注意点 理美容所の清潔法の実際
20	第5編　衛生管理の実践例 1章衛生管理要領①	第1～第4　衛生的取り扱い等
21	第5編　衛生管理の実践例 1章衛生管理要領②	第1～第4　衛生的取り扱い等
22	第5編　衛生管理の実践例 1章衛生管理要領③	第5～第6　自主的管理体制
23	第5編　衛生管理の実践例 1章衛生管理要領④	第5～第6　自主的管理体制
24	まとめ	まとめを実施する。振り返り・解説
25	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
26	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
27	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
28	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
29	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	香粧品化学		
必修選択	必修	（学則表記）	香粧品化学		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科／ヘアメイク科	2	60
使用教材	香粧品化学		出版社	社）日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	美容器具や香粧品等に関する科学的知識を通し、美容を適切に行う能力と態度を育てる。 「美容保健」、及び「美容実習」と関連させながら、実際的な知識の習得する。
到達目標	美容の香粧品化学・美容機器・香粧品の適正な取扱いができるように、化学の基本原理や応用できる。
評価基準	テスト：５０％　小テスト：３０％　　授業態度：20％
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	美容師国家資格
関連科目	
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	鈴木由希子　他2名
実務経験	○
実務内容	学習塾にて勤務 高等学校にて講師として12年勤務

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	イントロダクション １章　香粧品概論	先輩や講師自身の話をする　美容師免許を所得する上での必要性 取得までの流れを説明する　教科で一番興味を持ちそうな話をする（身近な薬剤の話など）
2	２章　香粧品原料	「香粧品の対象となる人体各部の性状」「水性原料」「油性原料の解説と演習
3	２章　香粧品原料	「油性原料」「界面活性剤」「高分子化合物」の解説と演習
4	２章　香粧品原料	「色材」「香料」「その他配合成分」「ネイル、まつ毛エクステンション用材料」の解説と演習
5	３章　基礎香粧品	「皮膚洗浄用香粧品」「化粧水」「クリーム・乳液」「その他の基礎香粧品」「メイクアップ用香粧品」の解説と演習
6	４章　メイクアップ用香粧品 ５章　頭皮・毛髪用香粧品	「メイクアップ用化粧品の種類と剤形」「ベースメイクアップ化粧品」 「ポイントメイクアップ化粧品」の解説と演習　「シャンプー剤」「スタイリング剤」の解説と演習
7	まとめ	まとめを行う
8	５章　頭皮・毛髪用香粧品	「スタイリング剤」の解説と演習
9	５章　頭皮・毛髪用香粧品	「パーマ剤」の解説と演習
10	５章　頭皮・毛髪用香粧品	「ヘアカラー」の解説と演習
11	６章　芳香製品と特殊香粧品	「芳香・特殊香粧品」「特殊香粧品」の解説と演習
12	６章　芳香製品と特殊香粧品	「芳香・特殊香粧品」「特殊香粧品」の解説と演習
13	まとめ	まとめを行う
14	解説	振り返り・解説
15	総まとめ	総まとめを行う

16	香粧品化学を理解するための基礎化学 付録１～付録2	「物質の構成」「物質（水）の構成」の解説と演習
17	香粧品化学を理解するための基礎化学 付録3～付録5	「溶液とコロイド」「イオンと水素イオン指数」「物質の変化と化学反応」の解説と演習
18	香粧品化学を理解するための基礎化学 付録6～付録7	「酸化・還元反応」「タンパク質」の解説と演習　化学範囲の復習
19	香粧品化学	「香粧品分野」重点項目の復習と確認
20	香粧品化学	「香粧品分野」重点項目の復習と確認
21	香粧品化学	「香粧品分野」重点項目の復習と確認
22	香粧品化学	「化学分野」重点項目の復習と確認
23	香粧品化学	「化学分野」重点項目の復習と確認
24	まとめ	まとめを行う
25	国家試験対策	国家試験過去問の演習と解説
26	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
27	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
28	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
29	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
30	国家試験対策	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ－A		
必修選択	必修	（学則表記）	美容実習Ⅱ－A		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	オールウエーブ教材一式　衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル　美容実習ノート		出版社	公益財団法人理容師美容師 試験研修センター	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	美容師国家試験合格に向けた授業　試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する		
到達目標	美容師国家試験合格レベルの技術と国家試験衛生を習得する		
評価基準	総まとめ３０％　まとめ２０％　提出物２０％　授業態度３０％		
認定条件	・出席が総時間数の５分の４以上ある者 ・成績評価が２以上の者		
関連資格	美容師国家資格（実技）		
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ－C・美容実習Ⅱ－E		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	安川　清美　他16名	実務経験	○
実務内容	神戸、大阪で19年間美容師として勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	初回授業オリエンテーション オールウエーブセッティング	この授業の目的、評価基準、マナールール説明、美容師国家試験衛生（技術における衛生上の取り扱い） １年次おさらい　１段目～３段目、くりぬき（ウエーブ・リッジ）、計測２７分
2	オールウエーブセッティング	１年次おさらい　１段目～３段目、くりぬき（ウエーブ・リッジ）復習、計測２７分～２５分 ４段目 右リフトカール、５段目左リフトカール導入（手順、スライス、ピニング）、美容師国家試験衛生
3	オールウエーブセッティング	１段目～３段目、くり抜き復習、計測２５分～２０分 ４段目 右リフトカール、５段目左リフトカール復習、強化、計測各カール３分、美容師国家試験衛生
4	オールウエーブセッティング	１段目～３段目、くり抜き復習、計測２０分 ４段目 右リフトカール、５段目左リフトカール復習、強化、計測各カール３分、美容師国家試験衛生 ６段目メイポール導入
5	オールウエーブセッティング	１段目～３段目、くり抜き復習、計測２０分 ４段目 右リフトカール、５段目左リフトカール復習、強化、計測各カール３分、美容師国家試験衛生 ６段目メイポール導入
6	オールウエーブセッティング	１段目～３段目、くり抜き復習、計測２０分～１７分 ４段目 右リフトカール、５段目左リフトカール復習、強化、計測各カール３分、美容師国家試験衛生 ６段目メイポール復習、強化、７段目クロッキノールカール導入
7	オールウエーブセッティング	１段目～３段目、くり抜き復習、計測２０分～１７分 ４段目 右リフトカール、５段目左リフトカール復習、強化、計測各カール３分、美容師国家試験衛生 ６段目メイポール、７段目クロッキノールカール復習、強化、７段構成全体のバランス
8	オールウエーブセッティング まとめ	オールウエーブセッティングまとめを実施する １段目～３段目、くり抜き、４段目右リフトカール、５段目左リフトカール計測２６分 ６段目メイポール、７段目クロッキノールカール復習、強化、計測、７段構成全体のバランス、美容師国家試験衛生
9	オールウエーブセッティング	７段構成全体のバランス、各段、各カール再復習、計測４段目～７段目カール１２分 ７段構成 計測３５～３０分、美容師国家試験衛生
10	オールウエーブセッティング	７段構成 計測３５～３０分 美容師国家試験衛生
11	オールウエーブセッティング	７段構成３０～２５分 美容師国家試験衛生
12	オールウエーブセッティング	７段構成３０～２５分 美容師国家試験衛生
13	オールウエーブセッティング	７段構成２５分 美容師国家試験衛生
14	オールウエーブセッティング 総まとめ	７段構成２５分 総まとめを実施する
15	総合授業	前期振り返り

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ－B		
必修選択	必修	（学則表記）	美容実習Ⅱ－B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	ワインディング教材一式　衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル　美容実習ノート		出版社	公益財団法人理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	美容師国家試験合格に向けた授業　試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する
到達目標	美容師国家試験合格レベルの技術と国家試験衛生を習得する
評価基準	ワインディング：総まとめ２０％　まとめ１５％　提出物１０％　授業態度５％ 国家試験カット：総まとめ２０％　まとめ１５％　提出物１０％　授業態度５％
認定条件	・出席が総時間数の５分の４以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	美容師国家資格（実技）
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ－C・美容実習Ⅱ－D・美容実習Ⅱ－E
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	安川　清美　他16名
実務経験	○
実務内容	神戸、大阪で19年間美容師として勤務

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【ワインディング】

回数	単元	内容
1	初回授業オリエンテーション ワインディング	この授業の目的、評価基準、マナールール説明 美容師国家試験衛生（技術における衛生上の取り扱い）　１年次おさらい
2	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロッキング（コーム、９ブロック）３分、全頭巻き３０分
3	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロッキング（コーム、９ブロック）３分、全頭巻き３０分　ブロッキング３ブロック導入
4	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロッキング３ブロック１分、全島巻き３０～２５分
5	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロッキング３ブロック１分、全島巻き３０～２５分
6	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロッキング３ブロック１分、全島巻き３０～２５分
7	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロッキング３ブロック１分、全島巻き２５分
8	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロッキング３ブロック１分、全島巻き２５分
9	ワインディング　まとめ	ワインディング・美容師国家試験衛生　全島計測２０分でまとめを実施する
10	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
11	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
12	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
13	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
14	ワインディング 総まとめを実施する	ワインディング・美容師国家試験衛生　国家試験タイムで総まとめを実施する
15	総合授業	前期振り返り

各回の展開【国家試験カット】		
回数	単元	内容
1	初回授業オリエンテーション 国家試験カット	この授業の目的、評価基準、マナールール説明 美容師国家試験衛生（技術における衛生上の取り扱い）　１年次おさらい　カット手順再確認
2	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 計測（カッティングのみ）１６分（チェックカット込み）２０分
3	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 計測（カッティングのみ）１６分（チェックカット込み）２０分
4	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 計測（カッティングのみ）１６分（チェックカット込み）２０分
5	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
6	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
7	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
8	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
9	国家試験カット　まとめ	国家試験カット・美容師国家試験衛生　国家試験タイムでまとめを実施する
10	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
11	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
12	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
13	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
14	国家試験カット 総まとめを実施する	国家試験カット・美容師国家試験衛生　国家試験タイムで総まとめを実施する
15	総合授業	前期振り返り　課題到達目標の確認

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ－C		
必修選択	必修	（学則表記）	美容実習Ⅱ－C		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	ワインディング教材一式　オールウエーブ教材一式　衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル　美容実習ノート		出版社	公益財団法人理容師 美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	美容師国家試験合格に向けた授業　時間内に合格基準を満たす技術を習得する		
到達目標	美容師国家試験合格レベルの技術と国家試験衛生を習得する		
評価基準	ワインディング：総まとめ２０％　まとめ１５％　提出物１０％　授業態度５％ オールウエーブ：総まとめ２０％　まとめ１５％　提出物１０％　授業態度５％		
認定条件	・出席が総時間数の５分の４以上ある者 ・成績評価が２以上の者		
関連資格	美容師国家資格（実技）		
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ－A・美容実習Ⅱ－B・美容実習Ⅱ－E		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	安川　清美　他16名	実務経験	○
実務内容	神戸、大阪で19年間美容師として勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【ワインディング】

回数	単元	内容
1	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
2	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
3	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
4	ワインディング　まとめ	ワインディング・美容師国家試験　国家試験タイムでまとめを実施する
5	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
6	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
7	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
8	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
9	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
10	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
11	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
12	ワインディング　総まとめ	ワインディング・美容師国家試験衛生　総まとめを実施する
13	総合授業	総合的授業を実施する
14	総合授業	総合的授業を実施する
15	総合授業	総合的授業を実施する

各回の展開【オールウエーブセッティング】		
回数	単元	内容
1	オールウエーブセッティング	オールウエーブセッティング・美容師国家試験衛生
2	オールウエーブセッティング	オールウエーブセッティング・美容師国家試験衛生
3	オールウエーブセッティング	オールウエーブセッティング・美容師国家試験衛生
4	オールウエーブセッティング	オールウエーブセッティング・美容師国家試験衛生
5	オールウエーブセッティング	オールウエーブセッティング・美容師国家試験衛生
6	オールウエーブセッティング	オールウエーブセッティング・美容師国家試験衛生
7	オールウエーブセッティング　まとめ	オールウエーブセッティング・美容師国家試験衛生　国家試験タイムでまとめを実施する
8	オールウエーブセッティング	オールウエーブセッティング・美容師国家試験衛生
9	オールウエーブセッティング	オールウエーブセッティング・美容師国家試験衛生
10	オールウエーブセッティング	オールウエーブセッティング・美容師国家試験衛生
11	オールウエーブセッティング	オールウエーブセッティング・美容師国家試験衛生
12	オールウエーブセッティング　総まとめ	オールウエーブセッティング・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する
13	総合授業	総合的授業を実施する
14	総合授業	総合的授業を実施する
15	総合授業	総合的授業を実施する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ－D		
必修選択	必修	（学則表記）	美容実習Ⅱ－D		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	オールウエーブ教材一式　カッティング教材一式　衛生教材一式 改正美容師技術試験課題　衛生と技術の解説 三幸学園オリジナルマニュアル　美容実習ノート		出版社	公益財団法人理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験第１課題カッティングの構成を理解し、国家試験規定時間内での合格基準の技術を習得する 美容師国家試験第２課題オールウエーブ技術について基礎を理解し習得する
到達目標	国家試験第１課題レイヤーカット技術、第２課題オールウエーブ技術の基礎知識及び国家試験合格基準を目指す
評価基準	国家試験カット：総まとめ２０％　まとめ１５％　提出物１０％　授業態度５％ 各校フリー：総まとめ２０％　まとめ１５％　提出物１０％　授業態度５％
認定条件	・出席が総時間数の５分の４以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	美容師国家資格（実技）
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ－B・美容実習Ⅱ－E
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	安川　清美　他16名
実務経験	○
実務内容	神戸、大阪で19年間美容師として勤務

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【国家試験カット】

回数	単元	内容
1	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
2	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
3	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
4	国家試験カット　まとめ	国家試験カット・美容師国家試験　国家試験タイムでまとめを実施する
5	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
6	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
7	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
8	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
9	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
10	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
11	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
12	国家試験カット　総まとめ	国家試験カット・美容師国家試験衛生　国家試験タイムで総まとめを実施する
13	総合授業	総合的授業を実施する
14	総合授業	総合的授業を実施する
15	総合授業	総合的授業を実施する

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ－E		
必修選択	必修	（学則表記）	美容実習Ⅱ－E		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	ワインディングまたはオールウエーブ教材一式・カッティング教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル　美容実習ノート		出版社	公益財団法人理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	美容師国家試験 実技試験合格に向けた授業　試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する		
到達目標	美容師国家試験 第１課題・第２課題・国家試験衛生合格レベルを習得する		
評価基準	総まとめ４０％　まとめ３０％　授業態度３０％		
認定条件	・出席が総時間数の５分の４以上ある者 ・成績評価が２以上の者		
関連資格	美容師国家資格（実技）		
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ－A・美容実習Ⅱ－B・美容実習Ⅱ－C・美容実習Ⅱ－D		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	安川　清美　他16名	実務経験	○
実務内容	神戸、大阪で19年間美容師として勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	国家試験第１課題・第２課題	国家試験第１課題・第２課題・美容師国家試験衛生
2	国家試験第１課題・第２課題	国家試験第１課題・第２課題・美容師国家試験衛生
3	国家試験第１課題・第２課題	国家試験第１課題・第２課題・美容師国家試験衛生
4	国家試験第１課題・第２課題	国家試験第１課題・第２課題・美容師国家試験衛生
5	国家試験第１課題・第２課題	国家試験第１課題・第２課題・美容師国家試験衛生
6	国家試験第１課題・第２課題	国家試験第１課題・第２課題・美容師国家試験衛生
7	国家試験第１課題・第２課題 まとめ	国家試験第１課題・第２課題・美容師国家試験衛生　まとめを実施する
8	国家試験第１課題・第２課題	国家試験第１課題・第２課題・美容師国家試験衛生
9	国家試験第１課題・第２課題	国家試験第１課題・第２課題・美容師国家試験衛生
10	国家試験第１課題・第２課題	国家試験第１課題・第２課題・美容師国家試験衛生
11	国家試験第１課題・第２課題	国家試験第１課題・第２課題・美容師国家試験衛生
12	国家試験第１課題・第２課題	国家試験第１課題・第２課題・美容師国家試験衛生
13	国家試験第１課題・第２課題	国家試験第１課題・第２課題・美容師国家試験衛生
14	国家試験第１課題・第２課題	国家試験第１課題・第２課題・美容師国家試験衛生
15	国家試験第１課題・第２課題 総まとめ	国家試験第１課題・第２課題・美容師国家試験衛生　総まとめを実施する

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	着付け		
必修選択	必修	（学則表記）	着付け		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	教本・ゆかた本・お太鼓枕・帯板・伊達締め・新伊達締め・腰ベルト 腰ひも（モスリン（4点））長襦袢(半えり付) 和装スリップ（下着）・クリップ（2本セット）足袋		出版社	桜花出版 KW	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	着付に関する知識・技術を身につける。
到達目標	着付に関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、今後の接客へ役立てることが出来る。 技術の習得目安として、 ・着付け３級（６月強制受験　免許強制） ・着付け２級（１２月強制受験　免許任意）を取得することが出来る。
評価基準	検定試験：４０％　　テスト：３０％　　授業態度：３０％
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	一般財団法人京都きもの伝承文化協会　きもの着付け資格☒
関連科目	
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	森常澄子他4名　　実務経験　○
実務内容	ブライダルホテル、株式会社KWプロジェクト着付け講師実務15年

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、授業ルールについて、到達目標について、教材小物の説明・記名、考査票の記入、足袋サイズの確認
2	小紋の着せ方１	補整、長襦袢の着せ方、たたみ方を学び実践する
3	小紋の着せ方２	小紋の着付（裾線、衿合せ）、たたみ方を学び実践する
4	小紋の着せ方３	小紋の着付（お端折の作り方）を学び実践する
5	小紋の着せ方４	半幅帯（蝶結び）の結び方を学び実践する 小テスト（着物の名称）を実施する
6	小紋の着せ方５	小紋の着付を仕上げる（検定対策）
7	小紋の着せ方６	小紋の着付を仕上げる（検定対策）
8	小紋の着せ方７	小紋の着付を仕上げる（検定対策）
9	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて
10	検定試験	着付け３級検定（小紋の着付と蝶結び（２０分））を実施する たたみ方テストを実施する
11	座学１	着物の名称と用語（プリント①②）について 試験結果を通知する
12	浴衣の着方・着せ方	浴衣の着方（自装）と着せ方、半幅帯バリエーションを学び実践する
13	座学２	着物のTPO（プリント③④）について
14	小紋と名古屋帯	お太鼓結びでの普段着（小紋）着付を学び実践する
15	総合学習	小紋の着付（お太鼓結び）と総まとめを行う

16	振袖の着せ方１	授業の流れ、到達目標について説明する、考査票の記入 補整、長襦袢の着せ方、振袖の着せ方、たたみ方について学び実践する
17	振袖の着せ方２	袋帯について、ふくら雀の結び方について学び実践する
18	振袖の着せ方３	袋帯について、ふくら雀の結び方について学び実践する
19	振袖の着せ方４	振袖の着付を仕上げる（検定対策）
20	振袖の着せ方５	振袖の着付を仕上げる（検定対策）
21	振袖の着せ方６	振袖の着付を仕上げる（検定対策）
22	振袖の着せ方７	振袖の着付を仕上げる（検定対策）
23	振袖の着せ方８	振袖の着付を仕上げる（検定対策）
24	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて
25	検定試験	きもの着付け２級検定試験（振袖にふくら雀３０分）を実施する
26	留袖の着せ方１	留袖について、留袖の着せ方について学び実践する たたみ方について
27	留袖の着せ方２	二重太鼓の結び方について学び実践する 留袖の仕上げ
28	紋服の着せ方	紋服について、紋服の着せ方について学び実践する たたみ方について
29	女袴の着せ方	女袴の着せ方について学び実践する
30	総合学習	国家試験対策として総まとめのテストを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	着付け		
必修選択	必修	（学則表記）	着付け		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	教本・花嫁テキスト・ゆかた本・お太鼓枕・帯板・伊達締め 新伊達締め・腰ひも(モスリン（4点）仮ひも)長襦袢(半え付) 和装スリップ（下着）・クリップ（5本セット）・足袋		出版社	桜花出版 KW	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	着付けに関する知識・技術を身につけると同時に花嫁着付も習得し、ブライダルの着付けに関わる全ての技術を身につける
到達目標	礼装・花嫁着付に関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、業界で通用する人材となる。 技術の習得目安として、 着付け２級（５月強制受験　免許強制） 花嫁着付３級（１２月強制受験　免許強制）を取得することが出来る。
評価基準	検定試験：４０％　　テスト：３０％　　授業態度：３０％
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	一般財団法人京都きもの伝承文化協会　きもの着付け資格☒
関連科目	
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	森常澄子他4名
実務経験	○
実務内容	ブライダルホテル、株式会社KWプロジェクト着付け講師実務15年

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	振袖の着せ方３	考査票の記入、振袖着付を仕上げる（検定対策）
2	振袖の着せ方４	振袖着付を仕上げる（検定対策）
3	振袖の着せ方５	振袖着付を仕上げる（検定対策）
4	振袖の着せ方６	振袖着付を仕上げる（検定対策）
5	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて
6	検定試験	きもの着付２級検定試験を実施する
7	留袖の着せ方１	留袖について、留袖の着せ方について学び実践する たたみ方について、検定結果通知
8	留袖の着せ方２	二重太鼓の結び方について学び実践する 留袖の仕上げ
9	浴衣の着方 男性浴衣の着せ方	女性浴衣の自装　半幅帯バリエーション　男性浴衣について
10	座学１	着物のTPO（ﾌﾟﾘﾝﾄ③④）を学ぶ
11	花嫁着付内容説明	デモストレーション、小物の準備/使い方/片付けについて
12	花嫁着付１	補整の説明と仕方、長襦袢の着付を学び実践する
13	花嫁着付２	補整の仕方、長襦袢の着付を実践する
14	花嫁着付３	補整、長襦袢、掛下の着せ方（衿合わせ）を学び実践する
15	総合学習	花嫁着付と総まとめを行う

16	花嫁着付４	考査票の記入、補整、長襦袢、掛下の着せ方（裾引き）を学び実践する
17	花嫁着付５	掛下までの着付を実践（復習）する
18	花嫁着付６	掛下の着付の実践（復習） 掛下帯での文庫の結び方を学び実践する
19	花嫁着付７	掛下の着付の実践（復習） 掛下帯での文庫の結び方を学び実践する
20	花嫁着付８	掛下の着付と文庫結びを仕上げる（検定対策）
21	花嫁着付９	掛下の着付と文庫結びを仕上げる（検定対策）
22	花嫁着付１０	掛下の着付と文庫結びを仕上げる（検定対策）
23	花嫁着付１１	掛下の着付と文庫結びを仕上げる（検定対策）
24	検定向上会	総仕上げ、テストの流れについて
25	検定試験	花嫁着付け３級検定試験を実施する
26	打掛の掛け方	掛下に文庫結び、お絡げ・裙どり・お掻い取り、検定結果通知
27	引き振り袖	花嫁の変わり結びを学び実践する
28	紋服	紋服について、紋服・袴の着せ方・たたみ方を学び実践する
29	女袴	女袴について、女袴の着せ方・たたみ方を学び実践する
30	総合学習	国家試験対策としてテストを実施、解説する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	就職対策Ⅱ		
必修選択	必修	（学則表記）	就職対策Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	全学科	1	30
使用教材	キャリアガイドブック		出版社	オリジナル	

科目の基礎情報②

授業のねらい	円滑な就職活動を行うための対策 就職に対する意識を高める 納得した上でエントリーさせ、内定辞退を無くす		
到達目標	就職の早期決定 発信力を向上させる 社会で通用するマナーや知識を身に付ける		
評価基準	前期　　授業態度30%　提出物40%　定期試験30% 後期　　授業態度30%　提出物20%　定期試験40%		
認定条件	出席が総時間数3分の２以上ある者 成績評価が２以上のもの		
関連資格	なし		
関連科目	ビジネスマナー		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	赤阪　亮太　他12名	実務経験	○
実務内容	美容師歴　9年		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	就職対策について	就職活動について、就職対策の成績の付け方 内定取消・辞退について、成績不良・出席不良について、就職スケジュール・流れを知る
2	求人票について	求人票の見方
3	履歴書完成 模擬面接	履歴書完成/模擬面接
4	履歴書完成 模擬面接	履歴書完成/模擬面接
5	履歴書完成 模擬面接	履歴書完成/模擬面接
6	履歴書完成 模擬面接	履歴書完成/模擬面接
7	履歴書完成 模擬面接	履歴書完成/模擬面接
8	総まとめ	総まとめ（模擬面接）
9	総まとめ	総まとめ（模擬面接）
10	お礼状について	面接先へのお礼状 内定はいつだされる？
11	内定・誓約書について	内定承諾書の出し方 誓約書って何のこと？
12	グループディスカッションについて	グループディスカッションとは？
13	グループディスカッションについて	グループディスカッション
14	グループディスカッションについて	グループディスカッション
15	総合授業	社会人になるにあたって

16	就職対策について	一就職活動について、就職対策の成績の付け方 内定取消・辞退について、成績・出席不良について、動画鑑賞
17	文章作成	1分間自己紹介文を作成
18	文章作成	1分間自己紹介を作成 グループワーク
19	社会人とは	社会人の常識/社会人のマナー
20	社会人とは	社会人の常識/社会人のマナー
21	社会人とは	社会人の常識/社会人のマナー
22	総まとめ	社会人の常識/社会人のマナー
23	コミュニケーション力向上	メンタルトレーニング
24	コミュニケーション力向上	メンタルトレーニング
25	コミュニケーション力向上	プレゼンテーション
26	コミュニケーション力向上	プレゼンテーション
27	総復習	総復習
28	総復習	総復習
29	2年間を振り返って	社会人として
30	2年間を振り返って	夢を叶えるために

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ－A		
必修選択	選択	（学則表記）	美容実践Ⅱ－A		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	ウィッグ、カット教材一式、カラー教材一式、ワインディング教材一式、 ドライヤー、ブラシ類、スタイリング剤		出版社	公益財団法人理容師美容師 試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ヘア　⇒パーマネントウェーブの理論を学び薬剤の特徴、仕上がり、使用目的に応じた使い方を学ぶ 　　コンテストにおいて必要なテクニックやカラーデザインを身に付け、デザインに応じたスタイル作成 メイク⇒スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し現場を意識して実践できるようになる。
到達目標	ヘア　⇒デザインに必要な要素を取り入れて作品を完成させる メイク⇒スキンケアからフルメイクまでの技術と理論を理解する。人にメイクが出来るようになる。
評価基準	ヘア　（テスト30%　小テスト20%　提出物20%　授業態度30%） メイク(テスト30%、提出物10%　授業意欲10%)
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	メイクアップ検定ベーシック(任意)、メイクアップ検定アドヴァンス検定(任意)
関連科目	美容実践Ⅰ－A　美容技術理論Ⅰ
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	ヘア　⇒竹中　勇樹　他１６名 メイク⇒高津　絵里他4名
実務経験	○
実務内容	竹中⇒大阪で美容師として7年勤務。 高津⇒百貨店にて美容部員、ブライダルヘアメイク事務所にてヘアメイクとして勤務

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数		単元	内容
1	ヘア	パーマネントウェーブ理論	理論を理解した上で、デザイン巻　平巻き・縦巻き
	メイク	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(問題集にて検定対策を行う)
2	ヘア	パーマネントウェーブ理論	実際にコールド液を使用　巻き方、ロッド、ピンパーマの仕上がりの違い等
	メイク	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(問題集にて検定対策を行う)
3	ヘア	パーマネントウェーブ理論 小テスト	実際にコールド液を使用　巻き方（平巻き・縦巻き）、ロッド、ピンパーマの仕上がりの違い等 スパイラル・ツイスト・ストレートパーマ　　巻き方小テストを実施する
	メイク	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(問題集にて検定対策を行う)
4	ヘア	コンテスト技術／ カッティング	コンテストデザインに合わせカッティング、応用カッティング技術
	メイク	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(問題集にて検定対策を行う)
5	ヘア	コンテスト技術／ カッティング	コンテストデザインに合わせカッティング、応用カッティング技術
	メイク	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(問題集にて検定対策を行う)
6	ヘア	コンテスト技術／ カッティング	コンテストデザインに合わせカッティング、応用カッティング技術
	メイク	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(問題集にて検定対策を行う)
7	ヘア	コンテスト技術／ カラーリング	コンテストデザインに合わせカラーリング、応用カラーリング技術
	メイク	苦手克服	フルメイク(自分の苦手な場所を意識的に行う) 座学(問題集にて検定対策を行う)

8	ヘア	コンテスト技術／ カラーリング	コンテストデザインに合わせカラーリング、応用カラーリング技術
	メイク	プレ検定	スキンケア10分・フルメイク35分行う テスト扱いとする
9	ヘア	コンテスト技術／ カラーリング	コンテストデザインに合わせカラーリング、応用カラーリング技術
	メイク	プロポーション	プロポーションについて導入、実践
10	ヘア	総合授業	作品制作
	メイク	錯覚	錯覚について導入、実践
11	ヘア	総合授業	作品制作
	メイク	色、質感	色、質感について導入、実践
12	ヘア	総合授業	作品制作
	メイク	色、質感	色、質感について導入、実践
13	ヘア	総合授業	作品制作
	メイク	フルメイク	フルメイクまとめテスト
14	ヘア	テスト	テストを実施する
	メイク	フルメイク	フルメイクまとめテスト／振り返り
15	ヘア	総合授業	前期振り返り
	メイク	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ－B		
必修選択	選択	（学則表記）	美容実践Ⅱ－B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	メイク道具一式、メイクアップテキストベーシック・問題集 スマホアプリ(VOGUERUNWAY等)、雑誌（VOGUE/MODE ET MODE 等)			出版社	ユアサポート

科目の基礎情報②	
授業のねらい	特殊➡ショーや撮影などで施すメイク技術を身につけ、現場において実践できるようにする メイク➡スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し現場を意識して実践できるようになる。
到達目標	特殊➡トレンド・年代別・ショーメイク・スチール撮影(フォトコンテスト)に必要なメイク技術と知識を身に付ける 様々なメイクアップが出来る様に、発想力・表現力を身に付ける。メイクの応用力を身に付け技術の幅を広げる メイク➡スキンケアからフルメイクまでの技術と理論を理解する。人にメイクが出来るようになる。
評価基準	特殊(テスト30%、提出物10%　授業意欲10%) メイク(テスト30%、提出物10%　授業意欲10%)
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	メイクアップ検定ベーシック(強制)、メイクアップ検定アドヴァンス検定(任意)
関連科目	美容実践Ⅰ－B
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	高津　絵里他4名
実務経験	○
実務内容	百貨店にて美容部員、ブライダルヘアメイク事務所にてヘアメイクとして勤務

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数		単元	内容
1	特殊	オリエンテーションベースメイク①	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認ベースメイク導入、実践
	メイク	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(問題集にて検定対策を行う)
2	特殊	ベースメイク② ポイントメイク	ベースメイク復習 ポイントメイク実践
	メイク	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(問題集にて検定対策を行う)
3	特殊	年代別のメイク①	古代～現代までの代表的なメイクアップのテクニックと特徴を実践する 各年代ごとにのメイクの歴史と特徴や特徴や当時の代表的な女優等のメイクを学ぶ
	メイク	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(問題集にて検定対策を行う)
4	特殊	年代別のメイク②	古代～現代までの代表的なメイクアップのテクニックと特徴を実践する 各年代ごとにのメイクの歴史と特徴や特徴や当時の代表的な女優等のメイクを学ぶ
	メイク	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(問題集にて検定対策を行う)
5	特殊	年代別のメイク③	古代～現代までの代表的なメイクアップのテクニックと特徴を実践する 各年代ごとにのメイクの歴史と特徴や特徴や当時の代表的な女優等のメイクを学ぶ
	メイク	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(問題集にて検定対策を行う)
6	特殊	年代別のメイク④	古代～現代までの代表的なメイクアップのテクニックと特徴を実践する 各年代ごとにのメイクの歴史と特徴や特徴や当時の代表的な女優等のメイクを学ぶ
	メイク	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(問題集にて検定対策を行う)
7	特殊	年代別のメイク⑤	テスト、振り返り
	メイク	苦手克服	フルメイク(自分の苦手な場所を意識的に行う) 座学(問題集にて検定対策を行う)

8	特殊	トレンドメイク①	トレンド、コレクション等のメイクアップを学ぶ(導入、実践)テーマに合わせて行う
	メイク	プレ検定	スキンケア10分・フルメイク35分行う テスト扱いとする
9	特殊	トレンドメイク②	トレンド、コレクション等のメイクアップを学ぶ(実践)テーマに合わせて行う
	メイク	プロポーション	プロポーションについて導入、実践
10	特殊	スチールメイク①	フォトコンで行うメイク制作(実践)テーマに合わせて行う
	メイク	錯覚	錯覚について導入、実践
11	特殊	スチールメイク②	フォトコンで行うメイク制作(テスト)テーマに合わせて行う
	メイク	色、質感	色、質感について導入、実践
12	特殊	スチールメイク③	テーマに合わせた作品制作作品の振り返り
	メイク	色、質感	色、質感について導入、実践
13	特殊	作品制作①	自分でヘアメイクのデザインを考える、デッサン画を作成し衣装や小物等も考える
	メイク	フルメイク	フルメイクまとめテスト
14	特殊	作品制作②	自分でヘアメイクのデザインを考える、デッサン画を作成し衣装や小物等も考える
	メイク	フルメイク	フルメイクまとめテスト／振り返り
15	特殊	総合授業	まとめを行う
	メイク	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ－C		
必修選択	選択	（学則表記）	美容実践Ⅱ－C		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	エステ➡教科書・クリエーヌ化粧品セット・タオル類・消耗品類 メイク➡メイク道具一式、メイクアップテキストベーシック・問題集		出版社	エステ➡日本エステティック協会、 日本理容美容教育センター メイク➡ユアサポート	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	エステ➡身体や皮膚の生理機能に基づいたフェイシャル・ボディトリートメントを学び、エステティックの流れ、 基本の手技を覚え一つ一つの手技の意味を理解する。 メイク➡スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し現場を意識して実践できるようになる。		
到達目標	エステ➡ホスピタリティーの実践、基礎的なフェイシャル・ボディの技術を提供できるようになる。 メイク➡スキンケアからフルメイクまでの技術と理論を理解する。 人にメイクが出来るようになる。		
評価基準	エステ(実技試験40%(フェイシャル20%・ボディ20%)授業態度・提出物10%) メイク(テスト30%、提出物10%　授業意欲10%)		
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者		
関連資格	メイクアップ検定ベーシック(強制)、ブライダルメイク検定(任意) 認定フェイシャルエステティシャン、認定ボディエステティシャン		
関連科目	美容実践Ⅰ－C		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	塚本恵理奈	実務経験	○
実務内容	ブライダルヘアメイク事務所、ホテルブライダルサロンにてヘアメイク担当。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数		単元	内容
1	エステ	オリエンテーション ボディエステティックとは	1コマ：教員自己紹介・授業の方向付け、履修目標について解説 1コマ：１．ボディエステティックの目的と効果　２．ボディエステティックの流れ
	メイク	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(問題集にて検定対策を行う)
2	エステ	接客マナー（相モデル）	1コマ：ベッドセッティング 1コマ:：笑顔・あいさつ身だしなみ・言葉づかイ
	メイク	接客マナー（相モデル）	1コマ：ベッドセッティング 1コマ:：笑顔・あいさつ身だしなみ・言葉づかい
3	エステ	前操作（相モデル）	ボディトリートメント/手の使用部位 流れ　前操作デモ・練習
	メイク	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(問題集にて検定対策を行う)
4	エステ	ボディマッサージ 下肢後面　1	デモ（塗布から） 手技練習・拭取り練習
	メイク	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(問題集にて検定対策を行う)
5	エステ	ボディマッサージ 下肢後面　2	前操作～ 下肢後面通し練習
	メイク	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(問題集にて検定対策を行う)
6	エステ	ボディマッサージ 下肢後面　3	前操作～ 下肢後面通し練習
	メイク	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(問題集にて検定対策を行う)

7	エステ	ボディ実技試験 成績評価①	ご案内－消毒－下肢後面マッサージ－ふき取り－誘導　×２クール～4クール人数に応じて　※相モデル
	メイク	苦手克服	フルメイク(自分の苦手な場所を意識的に行う) 座学(問題集にて検定対策を行う)
8	エステ	フェイシャルエステティックとは 接客マナー（相モデル）	1コマ：１．フェイシャルエステティックの目的と効果　　２．フェイシャルエステティックの流れ 1コマ：事前準備・基本動作・ベッド誘導
	メイク	プレ検定	スキンケア10分・フルメイク35分行う テスト扱いとする
9	エステ	フェイシャルマッサージ　1	マッサージ導入・デモ ご案内－デコルテ１～７(美容技術)－HOTタオルふき取り(技術編Ⅰプリント)
	メイク	プロポーション	プロポーションについて導入、実践
10	エステ	フェイシャルマッサージ　2	マッサージ導入・デモ ご案内－フェイシャル１～11(美容技術)－HOTタオルふき取り(技術編Ⅰプリント)
	メイク	錯覚	錯覚について導入、実践
11	エステ	フェイシャルマッサージ　3	クレンジング導入・デモ ご案内－全体クレンジング(ポイントなし)～マッサージ・ふき取り－整肌
	メイク	色、質感	色、質感について導入、実践
12	エステ	フェイシャルマッサージ　4	通し練習　ご案内－フェイシャルクレンジング(技術編Ⅰプリント)―マッサージ―ふき取り―整肌－誘導
	メイク	色、質感	色、質感について導入、実践
13	エステ	フェイシャル実技試験 成績評価②	ご案内－フェイシャルクレンジング―マッサージ―ふき取り―整肌－誘導
	メイク	フルメイク	フルメイクまとめテスト
14	エステ	マッサージ総合・マスク	1コマ：デモマスク塗布・ふき取り 通し練習　ご案内－消毒－クレンジング―マッサージ―マスク－ふき取り―整肌－誘導
	メイク	フルメイク	フルメイクまとめテスト／振り返り
15	エステ	総合授業	総まとめを行う
	メイク	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ-D		
必修選択	選択	（学則表記）	美容実践Ⅱ-D		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	JNAテクニカルシステム　ベーシック ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	基礎的なネイル技術から実践的な技術としてチップを使った補強を学び、ＪＮＡジェル検定初級取得から 中級までの技術やデザインジェルをマスターし、サロンで接客のできる技術を習得する		
到達目標	基礎技術に加えてＪＮＥＣ２級取得レベルに技術と共に ＪＮＡジェル検定初級に合格し、更に中級検定取得レベルを目指し、 サロンワークに対応できる技術を身に付ける		
評価基準	検定結果30％・授業態度他10％・筆記テスト30％・実技テスト30％		
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者		
関連資格	JNECネイリスト検定3級／ＪＮＡジェルネイル検定初級		
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	ジェル　　⇒田原美穂他1名 ネイル検定⇒高橋紀子他2名	実務経験	○
実務内容	田原⇒サロンにてネイリストとして従事。現在もネイリストとして活動中。 高橋⇒サロンにてネイリストとして従事。現在もネイリストとして活動中。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数		単元	内容
1	ジェル	導入・教材チェック １年次復習	オリエンテーション・教材確認
	ネイル検定	導入・教材チェック 一年次復習	オリエンテーション・教材確認
2	ジェル	１年次復習	復習
	ネイル検定	一年次復習	復習
3	ジェル	１年次復習	復習
	ネイル検定	１年次復習	復習
4	ジェル	ジェルグラデーション　実技	ジェルグラデーションを学ぶ
	ネイル検定	2級検定説明 チップラップ	チップラップを学ぶ
5	ジェル	ジェルグラデーション　実技	ジェルグラデーションを練習する
	ネイル検定	チップラップ　実技	相モデルにて実技
6	ジェル	ジェルフレンチ　実技	ジェルフレンチを学ぶ
	ネイル検定	２級後半　実技	JNEC2級後半実技タイムトライアル
7	ジェル	ジェルフレンチ　実技	ジェルフレンチを練習する
	ネイル検定	２級　通し	２級の実技を通しで練習する

8	ジェル	ジェルスカルプ　実技	ジェルスカルプチュアを学ぶ
	ネイル検定	２級　通し	２級の実技を通しで練習する
9	ジェル	ジェルスカルプ　実技	ジェルスカルプチュアを練習する
	ネイル検定	実技試験	２級内容
10	ジェル	ジェル検定中級　第一課題 筆記試験	第一課題を通しで練習する。 ジェルの筆記試験
	ネイル検定	実技試験	２級内容
11	ジェル	ジェル検定中級　第二課題	第二課題実施
	ネイル検定	筆記試験 トリートメント　実技	２級内容の筆記試験 トリートメントを学ぶ
12	ジェル	ジェル検定中級　第二課題	第二課題実施
	ネイル検定	エンボスアート　実技	エンボスアートを学ぶ
13	ジェル	実技試験	ジェル検定中級第二課題内容
	ネイル検定	３Ｄアート　実技	３Ｄアートを学ぶ
14	ジェル	実技試験	ジェル検定中級第二課題内容
	ネイル検定	ミックスメディア　アート	総合的なアートを作成する
15	ジェル	総合授業	総まとめを行う
	ネイル検定	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ-E		
必修選択	選択	（学則表記）	美容実践Ⅱ-E		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	JNAテクニカルシステム　ベーシック ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	基礎的なマニキュア技術を実践でき、ＪＮＥＣ３級検定取得と様々なアート技術を学び、説明し実践できる		
到達目標	ネイルの基礎知識及び技術を理解し実践でき、サロンワークで対応できる爪の補強やアートを習得		
評価基準	検定結果30％・授業態度他10％・筆記テスト30％・実技テスト30％		
認定条件	・出席が総時間数の５分の４以上ある者 ・成績評価が２以上の者		
関連資格	JNECネイリスト技能検定３級（任意）・JNAジェルネイル検定初級（任意）　２年4月　2年7～12月		
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	高津　絵里他4名	実務経験	○
実務内容	百貨店にて美容部員、ブライダルヘアメイク事務所にてヘアメイクとして勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	プレバレーションデモ リペア（シルクラップ）デモ・実技	ラップ素材を使用して 爪の修正を学ぶ
	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(問題集にて検定対策を行う)
2	２級検定説明(２級検定ＤＶＤ) ２級検定実技	２級検定について説明し 受験希望者を確認
	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(問題集にて検定対策を行う)
3	チップオン・チップラップデモ 相モデル	チップによる付け爪の習得
	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(問題集にて検定対策を行う)
4	チップオン・チップラップ相モデル	チップによる付け爪の習得
	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(問題集にて検定対策を行う)
5	チップオン・チップラップ相モデル	チップによる付け爪の習得
	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(問題集にて検定対策を行う)
6	トリートメントデモ 相モデル・ケア・トリートメント	サロンワークに必要なトリートメント
	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(問題集にて検定対策を行う)

7	エンボスアート	エンボスアートの基本的な花の作品や立体の作り方・仕上げ方を学ぶ
	苦手克服	フルメイク(自分の苦手な場所を意識的に行う) 座学(問題集にて検定対策を行う)
8	エンボスアート	エンボスアートの基本的な花の作品や立体の作り方・仕上げ方を学ぶ
	プレ検定	スキンケア10分・フルメイク35分行う テスト扱いとする
9	ミックスメディアアート	３Ｄアートの基本的な花の作品や立体の作り方・仕上げ方を学ぶ
	プロポーション	プロポーションについて導入、実践
10	ミックスメディアアート	４Ｄアートの基本的な花の作品や立体の作り方・仕上げ方を学ぶ
	錯覚	錯覚について導入、実践
11	チップラップ実技	テスト前に技術の再確認
	色、質感	色、質感について導入、実践
12	実技試験（2級と同じ内容）	実技試験　　ＪＮEC2級検定受験内容に準じる
	色、質感	色、質感について導入、実践
13	実技試験（2級と同じ内容）	実技試験　　ＪＮEC2級検定受験内容に準じる
	フルメイク	フルメイクまとめテスト
14	筆記試験　実技練習	筆記試験　　ＪＮEC2級検定受験内容に準じる 実技試験の振り返り
	フルメイク	フルメイクまとめテスト／振り返り
15	総合授業	総まとめを行う
	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	サロンワークA		
必修選択	選択	（学則表記）	サロンワークA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科 スタイリストコース	4	120
使用教材	カットマスター		出版社	ヘアモード社	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	ブラントカットの基本を身につけ、カットの楽しさを知り美容師のはかりしきれない魅了に触れてもらうこと。		
到達目標	サスーンカット（ブラントカット）基本のワンレン・グラデーション・レイヤーを理解し最低限の習得を目標とする。		
評価基準	テスト３０％　小テスト２０％　提出物２０％　授業態度３０％		
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者		
関連資格	美容師国家資格（実技）		
関連科目	美容実習		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	苧坂和範　　他4名	実務経験	○
実務内容	㈱スティルクリエイティブにて経営及び美容師として勤務（22年）。 主にサロン（本店スティル）で美容師としてお客様を担当。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	初回授業オリエンテーション	この授業の目的・評価基準・マナールール説明 教材確認（教材の名称・扱い方・管理方法）・カット展開図と似合わせフォルム
2	カット・スタイリング	ミディアムスタイル・スタイリング（アイロン）
3	カラーリング	ブリーチ・マニキュア
4	カット・ブロー	ボブスタイルカット・量感調整・ふんわり内巻きブロー
5	カット・ブロー	グラデーションカット
6	カット・スタイリング	ショートスタイルカット
7	総まとめ	ミディアムスタイルカット・カラーリング
8	パーマ・スタイリング	ウェーブパーマ
9	パーマ・スタイリング	ウェーブパーマ
10	カット・スタイリング	メンズカット
11	カット・スタイリング	メンズカット
12	カット・スタイリング	ベリーショート
13	カット・スタイリング	ベリーショート
14	カット・スタイリング	ベリーショート
15	パーマ①	ウェーブパーマスタイル

16	パーマ②	特殊パーマのかけ方
17	カラーリング	ホイルワーク・オンカラー
18	カット・スタイリング	トレンドスタイルの作成①
19	カット・スタイリング	トレンドスタイルの作成②
20	総まとめ	スタイルの作成
21	シャンプー①	相モデルシャンプー
22	カラーリング応用①	インナーカラー・バレイヤージュカラー
23	シャンプー②	相モデルシャンプー
24	カラーリング応用②	外国人風カラー
25	シャンプー・ヘッドスパ①	相モデルシャンプー・ヘッドスパ
26	カラーリング応用③	特殊カラー・ユニコーンカラー
27	シャンプー・ヘッドスパ②	相モデルシャンプー・ヘッドスパ
28	スタイル撮影	フィニッシュワーク・スタイル撮影①
29	スタイル撮影	スタイル撮影②（モデル）
30	総合授業	ディスカッション・振り返りとサロンワークで就職してからの必要なスキル

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	サロンワークＢ		
必修選択	選択	（学則表記）	サロンワークＢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科 メイク＆アイラッシュコース	4	120
使用教材	関連科目の使用教材一式		出版社		

科目の基礎情報②			
授業のねらい	現場をイメージしながら技術を学び、実践を行う		
到達目標	実践を積み、接客力、マナーを身につける		
評価基準	テスト・小テスト：６０％　授業態度：２０％　提出物：２０％		
認定条件			
関連資格	なし		
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	いぬいひろみ　他１名	実務経験	○
実務内容	美容室にて美容師として4年、ヘアメイク事務所にてヘアメイク担当5年、その後フリーランスとして活躍		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	サロンワーク導入	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える サロン運営についての実践を行う（サロンメニュー、集客方法、運営内容を考える）
	概論	概論と心構え
2	１年次復習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える サロン運営についての実践を行う（サロンメニュー、集客方法、運営内容を考える）
	用具ワゴンセッティング	道具確認・ラベル表示・用具理論
3	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える サロン運営についての実践を行う（サロンメニュー、集客方法、運営内容を考える）
	用具・グルーの取り扱い・ツイザー持ち方	ツイザーの持ち方・かき分け・Ｊカール
4	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える サロン運営についての実践を行う（サロンメニュー、集客方法、運営内容を考える）
	衛生管理	衛生について（手指消毒・ワゴンセッティン）
5	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える サロン運営についての実践を行う（サロンメニュー、集客方法、運営内容を考える）
	ウイッグ装着	Ｊカール（必要に応じてシート練習も入れる）

6	サロンワーク技術練習・小テスト	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える サロン運営についての実践を行う（サロンメニュー、集客方法、運営内容を考える）
	保健と装着	眼について　Ｊカール練習
7	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える サロン運営についての実践を行う（サロンメニュー、集客方法、運営内容を考える）
	実技総まとめ	Ｊカール装着テスト　Ｃカールシート練習
8	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える サロン運営についての実践を行う（サロンメニュー、集客方法、運営内容を考える）
	保健	皮膚について
9	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える サロン運営についての実践を行う（サロンメニュー、集客方法、運営内容を考える）
	保健	まつ毛に関する知識・毛周期　Ｃカール装着練習
10	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える サロン運営についての実践を行う（サロンメニュー、集客方法、運営内容を考える）
	まつ毛エクステンション技術 テ総まとめ	理論テスト（技術理論）　テーピング練習
11	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える サロン運営についての実践を行う（サロンメニュー、集客方法、運営内容を考える）
	サロンワーク導入	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、
12	サロンワーク技術練習・小テスト	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える サロン運営についての実践を行う（サロンメニュー、集客方法、運営内容を考える）
	サロンワーク導入	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、
13	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える サロン運営についての実践を行う（サロンメニュー、集客方法、運営内容を考える）
	サロンワーク導入	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、
14	振り返り	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える サロン運営についての実践を行う（サロンメニュー、集客方法、運営内容を考える）
	サロンワーク導入	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、
15	総合授業	総まとめを行う
	まつ毛エクステンション技術	テーピング・リムーピング練習
16	サロンワーク導入	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、
	装着復習・カウンセリング	Ｊカール
17	サロンワーク技術練習	サロンワークとしての技術・接客を学ぶ
	総まとめ	理論まとめテスト
18	サロンワーク技術練習	施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・
	カウンセリング・タイムトライアル	タイムトライアル導入
19	サロンワーク技術練習	様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	タイムトライアル	タイムトライアル

20	サロンワーク技術練習	サロン運営についての実践を行う
	装着復習	テープ・リムービング
21	サロンワーク技術練習・小テスト	（サロンメニュー、集客方法、運営内容を考える）
	装着復習	Ｊカール（装着・かき分け）
22	サロンワーク技術練習	接客についての理解を確認するテストの実施
	装着復習	Ｊカール（装着・かき分け）
23	サロンワーク技術練習	実践
	検定対策	タイムトライアル
24	サロンワーク技術練習	実践
	検定対策	タイムトライアル
25	サロンワーク技術練習	実践
	検定対策	タイムトライアル
26	サロンワーク技術練習	実践
	検定対策	タイムトライアル
27	サロンワーク技術練習・小テスト	実践
	検定対策	タイムトライアル・事前準備
28	サロンワーク技術練習	実践
	総まとめ	タイムトライアル・卒業制作落とし込み
29	振り返り	実践
	卒業制作	ウイッグ作成
30	総合授業	総まとめを行う
	卒業制作	ウイッグ作成

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロンワークC		
必修選択	選択	（学則表記）	サロンワーク-C		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科　ブライダルコース	4	120
使用教材	ヘアアレンジ道具一式、ヘアアレンジテキスト、 アイロン、カーラーを含む関連科目の使用教材一式		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	現場をイメージしながら技術を学び実践を行う		
到達目標	実践（逆毛・ピニング・アップスタイル技術等）を積み、接客力、マナーを身につける		
評価基準	テスト・小テスト：６０％　授業態度：２０％　提出物：２０％		
認定条件			
関連資格	なし		
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	稲葉　裕子	実務経験	○
実務内容	フォトスタジオにてヘアメイク、ヘアメイク事務所にてブライダルヘアメイク・着付け師として長年勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ブライダルヘアメイク導入	
2	１年次復習	
3	ブライダル知識・技術練習	
4	ブライダル知識・技術練習	
5	ブライダル知識・技術練習	
6	ブライダル知識・技術練習・小テスト	
7	ブライダル知識・技術練習	ブライダルについての基礎知識をドレスやブーケ、様々なシーンに合わせたヘアメイクがイメージできるようにする ブライダルヘアに合わせるヘッドドレスや生花とのバランスを考えデザインを完成させる
8	ブライダル知識・技術練習	施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を行う
9	ブライダル知識・技術練習	
10	ブライダル知識・技術練習	
11	ブライダル知識・技術練習	
12	ブライダル知識・技術練習・小テスト	
13	ブライダル知識・技術練習	
14	振り返り	
15	総合授業	総まとめを行う

16	ブライダルヘアメイク導入	
17	ブライダル知識・技術練習	
18	ブライダル知識・技術練習	
19	ブライダル知識・技術練習	
20	ブライダル知識・技術練習	
21	ブライダル知識・技術練習・小テスト	
22	ブライダル知識・技術練習	ブライダルについての基礎知識を学び、ドレスやブーケ、様々なシーンに合わせたヘアメイクがイメージできるようにする ブライダルヘアに合わせるヘッドドレスや生花とのバランスを考えデザインを完成させる
23	ブライダル知識・技術練習	施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を行う
24	ブライダル知識・技術練習	
25	ブライダル知識・技術練習	
26	ブライダル知識・技術練習	
27	ブライダル知識・技術練習・小テスト	
28	ブライダル知識・技術練習	
29	振り返り	
30	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロンワークD		
必修選択	選択	（学則表記）	サロンワークD		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科　ネイル＆アイラッシュコース	4	120
使用教材	ＡＢＥ text book Assisutant director		出版社	日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	まつ毛エクステンションの取り扱いや正しい知識技能による装着		
到達目標	まつ毛エクステンション技術者認定試験合格を目指す		
評価基準	実技テスト30%　筆記テスト30%　提出物20%　授業態度20%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師免許		
関連科目	美容実習		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	中原　明日香　他3名	実務経験	○
実務内容	大阪のアイラッシュサロンで7年間勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	概論	概論と心構え
	サロンワーク導入	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法など様々な視点から接客を考える
2	用具ワゴンセッティング	道具確認・ラベル表示・用具理論
	サロンワーク技術	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法など様々な視点から接客を考える
3	用具・グルーの取り扱い・ツイザー持ち方	ツイザーの持ち方・かき分け・Ｊカール
	サロンワーク技術	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法など様々な視点から接客を考える
4	衛生管理	衛生について（手指消毒・ワゴンセッティン）
	サロンワーク技術	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法など様々な視点から接客を考える
5	ウイッグ装着	Ｊカール（必要に応じてシート練習も入れる）
	サロンワーク技術	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法など様々な視点から接客を考える
6	保健と装着	眼について　Ｊカール練習
	サロンワーク技術	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法など様々な視点から接客を考える

7	実技総まとめ	Ｊカール装着テスト　Ｃカールシート練習
	サロンワーク技術	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法など様々な視点から接客を考える
8	保健	皮膚について
	サロンワーク技術	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法など様々な視点から接客を考える
9	保健	まつ毛に関する知識・毛周期　Ｃカール装着練習
	サロンワーク技術	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法など様々な視点から接客を考える
10	まつ毛エクステンション技術 総まとめ	理論総まとめ（技術理論）　テーピング練習
	サロンワーク技術	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法など様々な視点から接客を考える
11	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	サロンワーク技術	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法など様々な視点から接客を考える
12	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	サロンワーク技術	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法など様々な視点から接客を考える
13	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	サロンワーク技術	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法など様々な視点から接客を考える
14	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	サロンワーク技術	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法など様々な視点から接客を考える
15	まつ毛エクステンション技術	テーピング・リムーピング練習
	総合授業	総まとめを行う
16	装着復習・カウンセリング	Ｊカール
	前期振り返り	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法など様々な視点から接客を考える
17	総まとめ	理論総まとめ（技術理論）　テーピング練習
	サロンワーク技術	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法など様々な視点から接客を考える
18	カウンセリング・タイムトライアル	タイムトライアル導入
	サロンワーク技術	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法など様々な視点から接客を考える
19	タイムトライアル	タイムトライアル
	サロンワーク技術	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法など様々な視点から接客を考える
20	装着復習	テープ・リムーピング
	サロンワーク技術	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法など様々な視点から接客を考える
21	装着復習	Ｊカール（装着・かき分け）
	サロンワーク技術	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法など様々な視点から接客を考える

22	装着復習	Ｊカール（装着・かき分け）
	サロンワーク技術	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法など様々な視点から接客を考える
23	検定対策	タイムトライアル
	サロンワーク技術	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法など様々な視点から接客を考える
24	検定対策	タイムトライアル
	サロンワーク技術	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法など様々な視点から接客を考える
25	検定対策	タイムトライアル
	サロンワーク技術	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法など様々な視点から接客を考える
26	検定対策	タイムトライアル
	サロンワーク技術	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法など様々な視点から接客を考える
27	検定対策	タイムトライアル・事前準備
	サロンワーク技術	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法など様々な視点から接客を考える
28	総まとめ	タイムトライアル・卒業制作落とし込み
	サロンワーク技術	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法など様々な視点から接客を考える
29	卒業制作	ウイッグ作成
	サロンワーク技術	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法など様々な視点から接客を考える
30	卒業制作	ウイッグ作成
	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	サロンワークE		
必修選択	選択	（学則表記）	サロンワークE		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科 ヘアメイク・ネイル＆エステコース	4	120
使用教材	ＡＢＥ text book Assisutant director		出版社	日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	まつ毛エクステンションの取り扱いや正しい知識技能による装着		
到達目標	まつ毛エクステンション技術者認定試験合格を目指す		
評価基準	実技テスト30%　筆記テスト30%　提出物20%　授業態度20%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師免許		
関連科目	美容実習		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	門脇梨々香	実務経験	○
実務内容	大手エステティックサロン勤務を経て美容学校講師。 Ajesthe認定講師・トータルエステティックアドバイザー・CIDESCOインターナショナルエステティシャン		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	サロンワーク導入	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	オリエンテーション ボディエステティックとは	1コマ：教員自己紹介・授業の方向付け、履修目標について解説 1コマ：１．ボディエステティックの目的と効果
2	１年次復習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	ボディエステティックとは	１コマ：授業準備・ルールについて（各校） １コマ：ベッドセッティング
3	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	接客マナー（相モデル）	1コマ：ベッドセッティング 1コマ:：笑顔・あいさつ身だしなみ・言葉づかい
4	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	接客マナー（相モデル）	1コマ：基本動作・ベッド誘導 ボディトリートメント/手の使用部位

5	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	前操作（相モデル）成績評価①	ボディトリートメント流れ　前操作デモ・練習
6	サロンワーク技術練習・小テスト	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	ボディマッサージ 下肢後面　1	デモ（塗布から） 手技練習・拭取り練習
7	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	ボディマッサージ 下肢後面　2	前操作～ 下肢後面通し練習
8	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	ボディマッサージ 下肢後面　3	前操作～ 下肢後面通し練習
9	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	ボディマッサージ 下肢後面　4	ご案内－消毒－下肢後面マッサージ－ふき取り－誘導
10	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	ボディ実技試験 成績評価②	ご案内－消毒－下肢後面マッサージ－ふき取り－誘導　　成績評価②
11	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャルエステティックとは 接客マナー（相モデル）	2．フェイシャルエステティックの流れ
12	サロンワーク技術練習・小テスト	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャルエステティックとは 接客マナー（相モデル）	1コマ：基本手技・HOTタオルの流れシュミレーション １コマ：練習
13	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャルマッサージ　1	マッサージ導入・デモ ご案内－デコルテ１～７(美容技術)－HOTタオルふき取り(技術編Ⅰプリント)
14	振り返り	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャルマッサージ　2	マッサージ導入・デモ ご案内－フェイシャル１～11(美容技術)－HOTタオルふき取り(技術編Ⅰプリント)
15	総合授業	総まとめを行う
	総合授業	総まとめを行う
16	サロンワーク導入	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャルマッサージ　3	フェイシャルマッサージ通し練習
17	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャルマッサージ　4	フェイシャルマッサージ通し練習

18	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャルクレンジング　1	クレンジング導入・デモ ご案内－全体クレンジング(ポイントなし)～ふき取り－整肌
19	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャルクレンジング　2	クレンジング導入・デモ ご案内－全体クレンジング(ポイントなし)～ふき取り－整肌
20	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャル	ご案内－全体クレンジング(ポイントなし)～マッサージ・ふき取り－整肌
21	サロンワーク技術練習・小テスト	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャル	通し練習　ご案内－フェイシャルクレンジング(技術編Ｉプリント) ―マッサージ―ふき取り―整肌－誘導
22	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャル	通し練習　ご案内－フェイシャルクレンジング(技術編Ｉプリント)―マッサージ―ふき取り―整肌－誘導
23	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャル実技試験 成績評価①	ご案内－フェイシャルクレンジング―マッサージ―ふき取り―整肌－誘導　　成績評価①
24	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャルマスク　1	1コマ：デモマスク塗布・ふき取り １コマ：通し練習　ご案内－消毒－クレンジング―マスク－ふき取り―整肌－誘導
25	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャルマスク　2	通し練習　ご案内－消毒－クレンジング―マスク－ふき取り―整肌－誘導
26	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャル総合	通し練習　ご案内－消毒－クレンジング―マッサージ―マスク－ふき取り―整肌－誘導
27	サロンワーク技術練習・小テスト	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャル総合	通し練習　ご案内－消毒－クレンジング―マッサージ―マスク－ふき取り―整肌－誘導
28	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャル総合	通し練習　ご案内－消毒－クレンジング―マッサージ―マスク－ふき取り―整肌－誘導
29	振り返り	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャル実技試験 成績評価②	通し練習　ご案内－消毒ークレンジング―マッサージ―マスク－ふき取り―整肌－誘導
30	総合授業	総まとめを行う
	総合授業	総まとめを行う